



NEWS LETTER Vol.12
名古屋市立大学男女共同参画推進センター ニュースレター



NEWS LETTER 男女共同参画の
推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画推進センター ニュースレター

Vol.12

発行 名古屋市立大学男女共同参画推進センター 〒467-8601 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL:052-853-8577/FAX:052-853-8588/E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL:http://www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/ 2014年10月

INFORMATION お知らせ

第2回名古屋市立大学男女共同参画奨励賞の募集

名古屋市立大学では「名古屋市立大学男女共同参画宣言」の趣旨に鑑み、男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動等を行う教職員・学生および卒業生の表彰を行います。本賞にふさわしい個人・グループ・組織を自薦・他薦できますので、ぜひ応募ください。対象となる活動についてなど、ご質問等ありましたら、男女共同参画推進センターまでお問い合わせください。(電話:052-853-8586)

- 【対象者】 本学に在籍する個人・グループ・組織、および本学の卒業生が対象。本賞にふさわしい個人・グループ・組織を自薦・他薦できます。
- 【応募内容】 男女共同参画に関連した研究(過去2年以内に発表された論文、報告書、著書が対象)、あるいは男女共同参画に関連した社会的・教育的活動(過去2年以内から現在進行中のものまで)。
- 【受賞件数】 研究・活動の各部門で、教職員・学生・卒業生ごとに原則として各1件。
- 【表彰の方法】 学長より表彰状を授与いたします
- 【募集期間】 平成26年11月4日(火)～12月26日(金)
- 【応募書類・方法】 以下の書類を各1部、男女共同参画推進センターへ提出してください。(電子メールも可)
 - ①申請書(所定の書式。男女共同参画推進センターのウェブサイトへアクセスし、フォーマットをダウンロードしてください。)
 - ②成果資料等

両立カフェ～好きな音楽について語ろう～

職種や研究分野を超えて横のつながりをつくれたら、もっと仕事を楽しめるだろう—そんな声を耳にします。両立カフェでの気軽なおしゃべりからつながりづくりを始めませんか。昼食持参でご参加ください。

- 【日時】 平成26年10月27日(月)12時00分～13時00分
 - 【場所】 桜山キャンパス西棟3階 男女共同参画推進センター
 - 【対象】 本学の教職員、学生
- *事前申込みは不要です。

図書館で男女共同参画関連の図書の展示を行っています

総合情報センターでは、愛知県男女共同参画月間に合わせて、男女共同参画関連図書の展示を行っています。読書の秋。ぜひ本を手にとってみて、男女共同参画について考えてみませんか。

- 【展示期間】 平成26年10月1日(水)～31日(金)
- 【展示会場】 図書館・総合情報センター川澄分館1階展示コーナー
図書館・総合情報センター山の畑分館2階受付カウンター付近

REPORT イベント報告

SUMMER SCHOOL

2014
8.6-8.8
(WED) (FRI)

小学生サマースクールを開催しました!

今年も夏休みの3日間、教職員および学生のお子さんを対象とした小学生サマースクールを開催しました。小学1年生から6年生までの27名の子どもたちが参加し、人文社会学部の大学生ボランティアと楽しい3日間を過ごしました。



①この上で料理するよ ②手づくりのサッカーゲームに夢中! ③スライムのびる! ④大縄回跳べるかな?

サマースクールの朝はヨガでスタート。宿題をすませた後は、ドッジボールやサッカー、大縄跳びでたっぷり汗を流しました。生協の学生食堂での昼食後は、工作活動に熱中しました。1日目は段ボールをつかって「基地」づくり。高学年の子どもたちは部屋を仕切って「男子寮」と「女子寮」を、低学年の子どもたちはレストランをつくりました。また、2日目はリサイクル材料で楽器をつくり、音楽室でグループごとに発表しました。ほかに、大学生とスライムをつくったり、おやつのでんぐしやフルーツ白玉をつくったりしたことも思い出になりました。最終日の午後は、金山にある名古屋都市センターの「だがねランド」でまち体験を楽しみました。仕事を選び、働き、モノをつくり、給料をもらってまちの住民として生活する—そんな貴重な機会を子どもたちはいきいきと満喫していました。

保育サークル「ぼぼんた」をご紹介します!

人文社会学部心理教育学科の学生で構成される「ぼぼんた」。今年度のサマースクールでは26名のメンバーが活躍しました。サマースクール、春休みわくわくスクールのほか、さくらんぼ保育所でのボランティアなどの活動を通して子どもたちへの理解を深めることを目的としています。

①子どもの興味に合わせて遊びます ②手づくりクレープ大好評でした!



さくらんぼ保育所だより

子ども・保護者・職員みんなで運動会を楽しみました

秋晴れと言うには暑すぎるくらいな、9月最後の土曜日。さくらんぼ保育所の運動会が行なわれました。第1部は子どもたちの演目を保護者のみなさんが見学し、第2部は、子ども・保護者・職員が入り乱れて「パン食い競争」「障害物競争」「ジェンカ」を楽しみ、親交を深めました。自分たちの周りの大人たちが笑い合っている光景は、子どもたちの中にもポジティブなものを育むだろうと思います♪(写真は、「障害物競争」のひとつコマです♪)

保育サークル「ぼぼんた」をご紹介します!

人文社会学部心理教育学科の学生で構成される「ぼぼんた」。今年度のサマースクールでは26名のメンバーが活躍しました。サマースクール、春休みわくわくスクールのほか、さくらんぼ保育所でのボランティアなどの活動を通して子どもたちへの理解を深めることを目的としています。

①子どもの興味に合わせて遊びます ②手づくりクレープ大好評でした!

愛知サマーセミナー

7月19日(土)から21日(月)に名古屋市立大学滝子(山の畑)キャンパス他4会場で平成26年度の「愛知サマーセミナー」が行われました。名市大会場では「名市大講座」を開講し、男女共同参画推進センターも2つの講座を行いました。



7/20 中高生の理系進路選択支援プロジェクト

薬学研究科教員の築地仁美先生と伊藤友香先生、薬学部・薬学研究科の学生4名が理系進路選択の体験談を話し、会場の中高生からの質問に答えました。参加した中高生は34名。「それぞれ興味をもったからこそ、今もイキイキと楽しく仕事をされているようで、私もそういう職業につけたらなあと思いました」などの感想が出ました。講座終了後も、たくさんの参加者が教室で大学の教員や学生に質問をしていました。参加した中高生が将来社会で活躍することを期待しています。

7/21 地域社会における男女共同参画をめざして

本学教養教育科目「地域社会における男女共同参画をめざして」を担当する講師4名が連続講義を行いました。中高生のみならず一般市民の参加者も多く、様々な立場に立った感想が出されました。「無償労働に興味がありました」「性のあり方を4つの軸で考えるというお話はなるほどと思いました」など、市民の方に男女共同参画について考えていただくよいきっかけになったのではないかと思います。

アメリカ合衆国の女性運動の歴史

(新ヶ江章友・男女共同参画推進センター) 参加者17名

女の仕事と男の仕事～仕事とジェンダーの深い関係～

(佐藤洋子・男女共同参画推進センター) 参加者14名

若年層の就労事情とジェンダー

(重原惇子・特定非営利活動法人参画プラネット) 参加者17名

性同一性障害、性的マイノリティの権利

(安間優希・NPO法人Proud Life) 参加者6名

役職者セミナー



7月7日(月)、独立行政法人科学技術振興機構プログラム主管の木村忠正氏を招いて役職者向けセミナーを行い、役職者・部局長16名のほか、課長級職員や男女共同参画推進センター員が参加しました。木村氏のデータをふんだんに使った説明により、参加者の多くが、国の進める女性研究者支援の意義や目的、成果について知識を深めることができました。今後、本セミナーで得た知識や情報を、本学の男女共同参画の推進に生かしていきたいと思えます。

女性研究者
ランチミーティング



今年度2回目のランチミーティングを6月26日に行いました。いつも参加しているメンバーに加え、学生や病院職員など10名が参加。参加者の状況もさまざま、子どもや夫の話、仕事を続けてきた経験などを話しながらランチを共にしました。

リラックスヨガ教室



「体幹を強くする」、「肩の緊張をほぐす」など、各期5回ずつテーマを設けて開催してきたヨガ教室が第8期を迎えました。ストレスマネジメントに、仲間づくりぜひご参加ください。教室の曜日は、教職員向けイントラサイトで確認してください。

男女共同参画セミナー

昨年度に引き続き、各部局で男女共同参画セミナーを実施しています。9月には医学研究科・看護学部、システム自然科学研究科でセミナーを開催しました。

医学研究科・看護学部

車座ミーティング～親のことについて語ろう～ 9月17日(水)12時10分～13時30分 参加者24名

車座ミーティングレポート

久田陽子がレポートします!
6月から男女共同参画推進センターの事務をしています。



セミナー初参加です!

1 12:10 集合

ランチを注文した人は、ベトナム弁当。520円でこのボリューム!美味しくて好評でした。

2

ランチをしながら雑談。普段お話しできない先生方と…ちよびり緊張。

3 12:20

医学部・太田先生、看護学部・高田先生のごあいさつでスタート。

4

ファシリテーターは、ワーク・ライフ・バランス相談室の木下さん。

5 12:25

「親について思うこと」を付せんに一斉に書き出します。3分間で何枚書けるかな。

6

集中して書いています。

7

出た意見を発表。親自慢から介護の心配事まで、様々です。「ポケない心配」なんて声も。

8

「メールの内容 把握困難」という意見に笑いが。共感できる意見もたくさん!

9

横造紙がこんなにいっぱいになりました。テーマごとに分けたら、「感謝」の意見が一番たくさんありました。

10 13:00

後半は「介護」と「おすすめ親孝行」のテーマで分かれて話し合いました。いろいろなお話が聞けて、参考になりました。

参加者の感想

私なりにしてきた親孝行を聞いてもらいましたが驚かれた方もいたようです。当たり前のことだと思っていたので、そのこと自体が驚きでした。親自慢、親孝行自慢ができて幸せなひとときでした。(元教員)

当日の参加者の方が私の親と同じくらいの世代の人たちでした。このセミナーの中で介護のことや親の身体を心配する声がたくさんあり、私の親も同じ思いを抱いているのかもしれないと思いました。自分の親の気持ちや苦労を知るいい機会になりました。(学生)

思っていたより多くの教職員の方が参加されていたので、普段話せない方とも交流できたのが楽しかったです。世代によって親に関する悩みや心配事はまちまちですが、感謝の気持ちは共通なのだとわかりました。(職員)

「親」という共通の話題で、年齢や役職を超えて話ができただけでも貴重な体験でした。憧れの先生方とお話しできて、楽しい時間を過ごせました。またほかのテーマでもお話ししてみたいです。(久田)

◎今後のセミナー予定: 薬学研究科 12月12日(金)

システム自然科学研究科

理系における男女共同参画ワークショップ 9月30日(火)15時00分～17時00分 参加者29名

システム自然科学研究科で開催した「理系における男女共同参画ワークショップ」では、2人の男性研究者(田上英明先生、渡邊裕司先生)が話題提供者として登壇し、ご自身の研究と子育ての両立や、男女共同参画に対する思いなどを話しました。お二人の話題を受け、会場の参加男性からも、普段感じている子育て参加のしづらさや研究との両立の難しさが次々に語られました。また大学や男女共同参画推進センターにも、保育環境の整備や大学院生への経済的支援に対する要望が出されました。

